

令和8年 3月号



みづき便り

少しずつ寒さがゆるみ

麻績村社会福祉協議会
デイサービスみづき
発行 関崎純子
☎ 67-3099

日差しの中に、春の気配が感じられる季節となりました。2月は、鬼退治を行いました。また、麻績小学校4年生との交流会では『ちいちゃんのかげおくり』の朗読劇の発表がありました。読み終える頃には、戦争の悲しさと子供の切なさに、目頭を押さえ、涙する利用者さんもみられました。



3月の予定



3月9日(月)の週

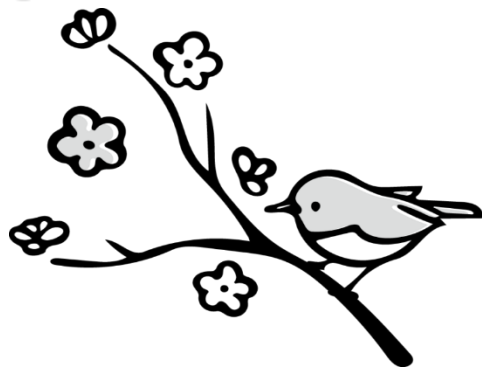
有料散髪サービス(3月2日予約締切です)

3月14(土)27日(金)

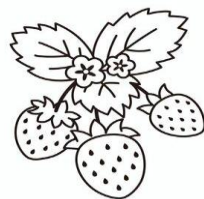
お誕生日会(Happy Birthday!)

3月23日(月)紙芝居鑑賞会(麻績村の昔話)

毎週木曜日は、購買車がみづきに來ます。ぜひご利用ください



【麻績村の昔話～其①】



・お仙の茶屋

番場峠のふもとと清水の茶屋に心優しい娘・お仙がいました。お仙は助けた旅の武士と心を通わせ『必ず戻る』と言う言葉を信じ待ち続けました。しかし武士は現れず年の暮れに形見のかんざしだけが届けられました。今も峠にはお仙を想う歌が残されています。

・嫁の泣き石



善光寺街道にある『嫁の泣き石』は、むかし、花嫁がこの石にすがりつき嫁ぐのを嫌がって泣きながら亡くなったと言う伝説のある石です。それ以来不吉だとして花嫁行列は避けて通るようになりました。あるとき、機転のきく仲人が石に羽織をかぶせて通りそれから石に何かをかぶせて通る習わしができたといわれています。

暖かくなったら『麻績の昔話ツアー』を開催する予定です!

お・た・の・し・み・に♡

